

### ★ 提案7の賛成意見 ★

年に2回の時間変更により、どの程度の負担があるのでしょうか。考慮すべき事実は次のとおりです。2012年の大学の医学研究により、時間変更後の2日間において心臓発作のリスクが10%増加することが判明しました。

2016年の研究では、時間を変更した際に、脳卒中中のリスクが8%高まることも明らかになりました。脳卒中中のリスクは、癌患者では25%、65歳以上では20%上昇します。これはすべて、睡眠パターンの乱れが原因です。

年2回、子供たちの睡眠パターンが乱れるというのがどういうことなのか、親なら誰もが理解していることでしょう。

次に、資金面について考えます。世界の多くの地域では、年2回の時間変更により電力使用量は4%増加し、車の燃料使用量も増え、\$4億3400万のコストが発生しています。これは削減できるコストです。

時間を変更しても、日の出や日の入りの時間は変わりません。それは自然が行うことです。夏の一日

は常に長く、冬の一日は短いのです。

2000年以降、14か国が時間の変更を廃止しています。また、現在68%の国が時間変更を実施していません。それらの国では、政府ではなく自然が時間を決定しているのです。健康リスクの低下、エネルギー消費量の低減、コストの削減が実現します。提案7への「賛成」の投票により、California州は夏時間または標準時間の通年時間への変更を検討できます。そして、時間の変更よりも重要な変更事項を検討できるのです。

提案7は、最終決定を下すうえで州議会の2/3の賛成票が必要です。

**KANSEN CHU** 下院議員

California州下院第25区

**LORENA GONZALEZ** 下院議員

California州下院第80区

**DR. SION ROY (M.D.)**、心臓内科医

### ★ 提案7の賛成意見に対する反論 ★

恒久的な夏時間を支持する人たちは、エネルギーが削減できると主張していますが、削減は実現しません。このテーマについて多くの研究が行われていますが、夏時間を常時適用することで、わずかでもコストが削減できるという決定的な証拠はありません。特定の疾患の一時的な増加の可能性は、冬の朝遅くまで暗闇が続く場合の危険性と比較検討する必要があります。

年2回、時間を変更することは不便なことかもしれません。しかし、冬の間、暗いうちから一日を始めなければならないということは、非常に不便で、危険です。暗闇の中で通学したり、バスを待ちたりすることは、子供たちにとって危険であることはもちろんのこと、暗い中で通勤しなければならない大人にとっても危険なことです。夏時間を通

年で採用した1974年の試みは失敗に終わり、この危険な事実が確認されました。

春、夏、秋に夏時間を、冬に標準時間を適用するという現行システムを維持する利点は明らかです。

- 明るい夏の夕方
- 明るい冬の朝
- 隣接する西部の州とメキシコとの1時間の時差(4か月間)を回避

冬の間、子供と大人の危険性が高まり、隣接する州と時間帯が異なることになります。それに見合うほどの価値はありません提案7に反対票を投じてください。

**HANNAH-BETH JACKSON** 上院議員

上院第19区

## ★ 提案7の反対意見 ★

提案7に「反対」票を投じてください。

提案7により、California州は恒久的な夏時間への切り替えが可能となります。

これは、以前に試みたものの失敗に終わりました。1974年、エネルギー危機が起こったことで、ニクソン大統領は夏時間を常時適用するという非常事態を宣言しました。16か月間継続する予定でしたが、日の出が遅すぎると人々が不快感を示したことから、10か月後に中止となりました。

夏時間により、日照時間が長くなるわけではありません。日照時間が始まる時刻が変わるだけです。Anaheimでは、今年のクリスマスの日の出は朝の6時55分です。夏時間の場合、7時55分となります。

夏には夏時間が導入されるため、仕事から帰宅しても外は明るいままです。そして、冬に標準時間に切り替えると、明るい朝を過ごすことができます。

恒久的な夏時間を採用することで、どのような影響があるのでしょうか。日の出は、標準時間に比べて1時間遅くなります。EurekaやSusanvilleに住んでいる場合、元日の午前8時になっても、まだ暗いままで。Los AngelesやTwentynine Palmsの場合、11月から2月までの間、午前7時30分過ぎまで日は昇りません。

太陽と共に起きるような人たちは、暗闇の中で目を覚ますこととなります。家族は暗がりです。子供たちは日が昇る前に通学したり、スクールバスを待つ

こととなります。仕事前に運動をしたり、礼拝に参加する人たちは、それを暗闇の中で行うことになるのです。夏時間によりエネルギーを節約でき、安全性が高まると主張している人たちもいますが、それには科学的根拠がありません。単に利便性の問題です。現在、夏の間は夏時間を採用していますが、暗くあってほしい朝の5時から6時の間に明るい時間を過ごすのではなく、夕方の日照時間が延びることで、その明るさを楽しむことができます。そして、冬になり標準時間に切り替わると、朝はそれほど暗くありません。

恒久的な夏時間が採用されると、近隣地域との調和がとれなくなります。California州は、常にArizona州と同じ時間帯となるものの、年間のうちの一定期間を山岳部時間帯を採用する州と、残りの期間をNevada、Oregon、Washington、メキシコと同一の時間帯となります。

「春に時間を進め」、その分の時間を失うことは、「秋に時間を戻す」際にはその時間分が長くなりますが、ほんの些細な不都合にすぎません。しかし、これらの移行を避けることよりも、恒久的な夏時間が採用された場合の他の州の時間帯との混乱や、数か月にも及ぶ暗い朝に耐えなければならないことの方が問題です。

**HANNAH-BETH JACKSON** 上院議員

上院第19区

**PHILLIP CHEN** 下院議員

第55区

## ★ 提案7の反対意見に対する反論 ★

提案7の反対者は、年2回の時間変更が私たちの健康と経済に有害であることを示す科学的・経済的事実に対して異議を唱えることはできません。提案7は、地域社会、職場、学校、道路を安全かつ生産的に保つことに関連しています。

時間変更の際には、心臓発作や脳卒中が発生する可能性が高いことが研究で示されています。

子供たちは、いつもの睡眠パターンが崩れ、授業に集中できなくなるのです。

時間を変更した後には、交通事故や労働災害が大幅に増加します。

言うまでもなく、時間が1時間前後することで、生産性

が低下し、毎年\$4億3400万もの損害が生じます。

提案7に賛成票を投じることで、California州は危険な時間変更から解放されるのです。

保護者、医療従事者、職場の安全性をサポートするため、提案7に賛成の一票をお願いいたします。

[www.YesProp7.info](http://www.YesProp7.info)

**KANSEN CHU** 下院議員

California州下院第25区

**LORENA GONZALEZ** 下院議員

California州下院第80区